



注目ポイント

- ✓先週、日米の金融政策決定会合はコンセンサス(日本=変更なし、米国=25bp利下げ)通りだったが、会合後の両トップの会見は、「日銀は想定以上にハト派」そして「FRBは想定以上にタカ派」と評価された。特に植田日銀総裁の会見が、利上げ先送りと捉えられ、その後に円安ドル高が加速し、20日には1ドル=157円93銭(7月以来)まで円が売られる場面もあった。
- ✓今週からクリスマス休暇に入る投資家も多く市場参加者は限られることから、各市場ともに大きなトレンドは出にくくなることが予想されるが、国内では25日の植田日銀総裁の講演に注目が集まる。先週の決定会合後の会見が約3円の円安を招いたことから、利上げ先送り観測の火消しに回るかどうかポイント。もし先週の会見と変わらずと受け止められると、更なる円安ドル高の可能性も。
- (門倉英司)

※次回の発行は、2025年1月6日の予定です。

①マーケット動向(実績データ)

2024年12月16日

～

2024年12月20日

市場・指標			12月16日 ～ 12月20日		12月20日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	日本	日経平均 (円)	39,796	38,356	38,702	-769	-1.9%	
	米国	NYダウ (ドル)	43,952	42,146	42,840	-988	-2.3%	
	ドイツ	DAX (ポイント)	20,388	19,650	19,885	-521	-2.6%	

市場・指標			12月16日 ～ 12月20日		12月20日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	日本	10年 (%)	1.100	1.030	1.050	+0.010	
	米国	10年 (%)	4.59	4.36	4.52	+0.13	
	ドイツ	10年 (%)	2.32	2.22	2.29	+0.03	

市場・指標			12月16日 ～ 12月20日		12月20日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	米ドル (円)		157.93	153.16	156.31	+2.66	
	ユーロ (円)		163.80	159.82	163.12	+1.75	
	豪ドル (円)		98.74	95.81	97.81	+0.04	

市場・指標			12月16日 ～ 12月20日		12月20日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	日本	東証リト (ポイント)	1,637	1,611	1,624	-10	-0.6%	
	米国	NY原油 (ドル)	71.44	68.42	69.46	-1.8	-2.6%	
		NY金 (ドル)	2,683	2,597	2,645	-31	-1.1%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2024年12月23日 ~ 2024年12月30日

株式

年末にかけて、戻りを試す展開

日経平均株価
【予想レンジ】 38,250 円 ~ 39,750 円

- 先週の日経平均は、大幅下落。日米の金融政策決定会合の結果を見極めたいとするムードが漂うなか、米国株の急落に日本株もつられる格好となり、日経平均は前週から6日続落となった。自動車業界再編の報道が、一部銘柄を買い支える場面もあったが、半導体関連株や値がさ株を中心に、利益確定売りが優勢に。
- 続落中の日経平均は、日米の中央銀行のイベントが終了したアク抜け感から、年末にかけては戻りを試す展開を予想。進行した円安ドル高も買い支え材料となろうが、今週からクリスマス休暇に入る投資家も多く市場参加者は限られることから、大きなトレンドは出にくく、個別株の物色が中心となろう。

金利
(国債)

長期金利は、居所を探る展開

10年国債利回り
【予想レンジ】 1.020 % ~ 1.080 %

- 先週の長期金利は小幅上昇。週央までは、米金利上昇を受け17日には一時10年国債利回りが1.10%(7月以来)まで上昇する場面も。しかし19日の日銀決定会合では、直前のコンセンサス通り政策金利が据え置かれ、会合後の会見で総裁が「利上げには、春闘などもう1ノッチ材料が欲しい」と発言したことで、利上げの3月以降の先延ばしが想起され、国内金利は週末に上昇幅を縮めた。
- 年内の長期金利は、居所を探る展開を予想。先週の日銀決定会合では田村審議委員が据え置き議案に反対し、追加利上げを提案したことで、次回1月の利上げ期待が多少残るも、足元では次回の利上げ予想が3月以降に傾き始めた。そのためにも、25日の植田日銀総裁の講演や27日公表の決定会合の主な意見(先週分)を確認したい。

為替
(米ドル)

ドルが上値を試す展開

米ドル/円
【予想レンジ】 155.00 円 ~ 160.00 円

- 先週のドル円は、大幅な円安ドル高が進展。日米の金融政策決定会合はコンセンサス(日本=変更なし、米国=25bp利下げ)通りだったが、会合後の両トップの会見は、「日銀は想定以上にハト派」そして「FRBは想定以上にタカ派」と評価された。特に植田日銀総裁の会見が、利上げ先送りと捉えられ、その後に円安ドル高が加速し、20日には1ドル=157円93銭(7月以来)までドルが買われる場面もあった。
- 年内は、円安ドル高を基調とした展開を予想。そんな中、日本では25日の植田日銀総裁の講演に注目が集まる。先週の決定会合後の会見が約3円の円安を招いたことから、利上げ先送り観測の火消しに回るかどうかのポイント。もし先週の会見と変わらずと受け止められると、更なる円安ドル高の可能性も。



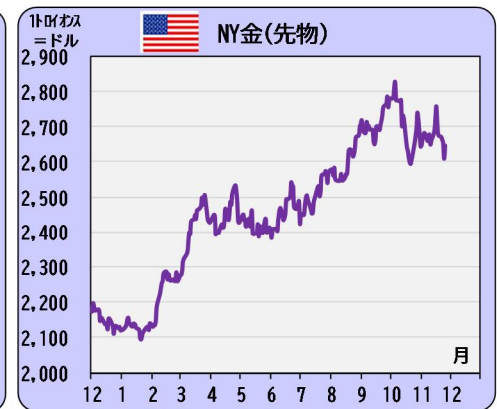
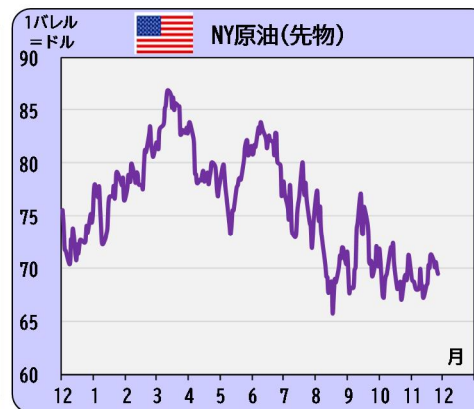
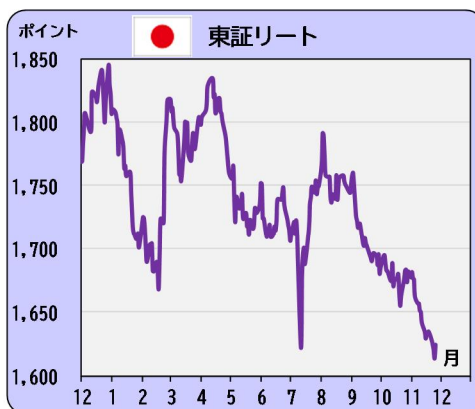
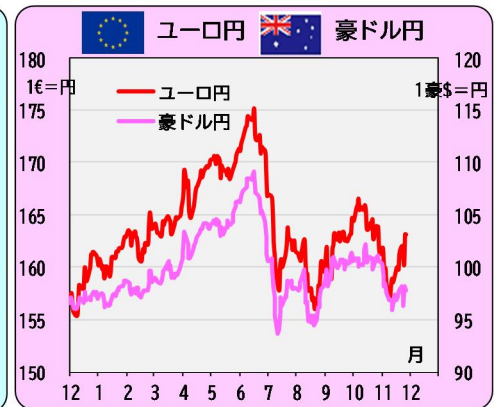
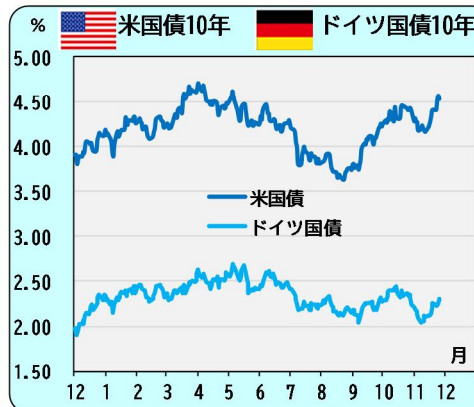
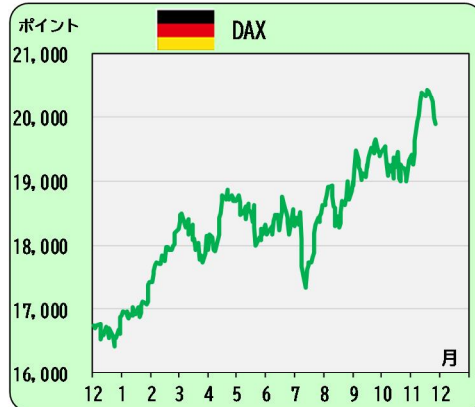
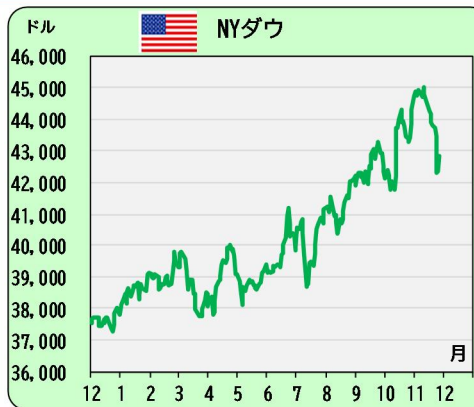
○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
12/23(月)		米国: 国債入札(2年) 米国: コンファレンスボード消費者信頼感指数(12月)
12/24(火)	日銀金融政策決定会合議事要旨(10月開催分)	米国: 国債入札(5年) 米国: 新築住宅販売件数(11月) 米国: 耐久財受注(11月)
12/25(水)		米国: 祝日(クリスマス) 1-10: クリスマス休暇
12/26(木)	国債入札(2年) 住宅着工統計(11月)	1-10: 祝日(クリスマス) 米国: 国債入札(7年)
12/27(金)	日銀金融政策決定会合主な意見(12月開催分)公表 完全失業率(11月) 鉱工業生産指数(11月)	
12/30(月)	大納会	
12/31(火)	祝日(大晦日)	米国: S&Pケースシラー住宅価格指数(10月)



③その他チャート集

直近1年間



※Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成

※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
CTFC	米商品先物取引委員会	FTA	自由貿易協定	PCE	個人消費支出
CPI	消費者物価指数	GDP	国内総生産	PER	株価収益率
ECB	欧州中央銀行	IMF	国際通貨基金	PMI	購買担当者景気指数
ETF	上場投資信託	IEA	国際エネルギー機関	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
EU	欧州連合	ISM	米供給管理協会	SQ	特別清算指数
FDI	海外直接投資	OECD	経済協力開発機構	TPP	環太平洋経済連携協定
FF	フェデラルファンド	OPEC	石油輸出国機構	WSTS	世界半導体市場統計
FOMC	米公開市場委員会	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み	WTI	ウエストテキサスインターメディアート(原油)
FRB	米連邦準備理事会	PBR	株価純資産倍率	YCC	イールドカーブコントロール

●ご留意事項

- 本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客さまご自身でなさるようお願いいたします。
- 本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いします。